



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 ゼット株式会社

上場取引所 東

コード番号 8135 URL <https://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括本部管理本部長 (氏名) 渡辺 征志 TEL 06-6779-1171

半期報告書提出予定日 2024年11月14日

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	27,247	4.3	581	△5.8	706	△1.4	466	6.4
2024年3月期中間期	26,120	4.9	616	2.4	717	△5.8	438	△11.9

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 790百万円 (61.1%) 2024年3月期中間期 490百万円 (△32.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	23.85	-
2024年3月期中間期	22.43	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	30,707	13,939	45.4
2024年3月期	29,539	13,305	45.0

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 13,939百万円 2024年3月期 13,305百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	8.00	8.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2024年3月期 期末配当金の内訳 普通配当金 2円00銭 特別配当金 6円00銭

2025年3月期（予想） 期末配当金の内訳 普通配当金 10円00銭 特別配当金 8円00銭

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	3.9	1,000	14.1	1,200	17.4	2,800	245.4	143.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

本日開示いたしました「第2四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正、並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 -社 (社名) -、除外 -社 (社名) -
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	20,102,000株	2024年3月期	20,102,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	527,174株	2024年3月期	527,170株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	19,574,828株	2024年3月期中間期	19,574,845株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の高まりや雇用・所得環境の改善などによって緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、地政学リスクの高まりによる資源、材料価格の高騰や急激な為替相場の変動等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、基本方針として「新しい価値の創造」「利益の創出と社会的使命の遂行」「人材の戦略的活性化」「次世代DX卸ビジネスモデルへ向けて」を定め、特に具体的な施策として「構造改革の更なる前進」「ESG経営の推進」の2つを進めております。「構造改革の更なる前進」については、①収益性の向上 ②利益を伴った売上拡大 ③在庫・物流改革に取り組んでおり、「ESG経営の推進」については、①環境への対応 ②社会との調和 ③ガバナンスの強化に取り組んでおります。この方針及び施策のもとグループ各社一丸となり、企業価値向上並びに業績向上に努めました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は27,247百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は581百万円(前年同期比5.8%減)、経常利益は706百万円(前年同期比1.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は466百万円(前年同期比6.4%増)となりました。

部門別の経営成績は次のとおりであります。

#### (卸売部門)

卸売部門は、アスレチック市場において、日本人選手たちの国内外における活躍もあって、スポーツへの関心の高まりにより、引き続き需要の高い状態が続いております。野球・ソフトボールカテゴリー、サッカーカテゴリー、バドミントン及び卓球カテゴリーにおいては、引き続き好調でした。その他のカテゴリーにおいても概ね堅調でした。ライフスタイル市場において、健康・運動志向の高まりによりフィットネスやアクティブライフスタイルの重要性が再認識され、スニーカー等の高機能シューズ、カジュアルシューズが堅調でした。アウトドアカテゴリーは、購買意欲に落ち着きが見られております。

この結果、売上高は26,492百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

#### (製造部門)

製造部門は、野球・ソフトボール用品の「ゼットベースボール」はオーダーグラブや軟式高機能バットが引き続き高評価を得ております。また、2024年に基準が改正された硬式金属製バットも使用者から高い評価を得た結果、高等学校野球全国大会では、当社の硬式金属バット製の使用率が大幅に上昇しました。バスケットボール用品の「コンバース」は、日本人選手の活躍によって市場は盛り上がりを見せたものの、学校部活動の部員数減少等による影響を受けております。卸売部門の売上高に反映されるグループ間取引を含めた売上高は堅調でしたが、グループ間以外への売上高は低調でした。なお、製造部門の経営環境は、原材料価格の上昇や米ドル為替相場の変動による製造原価の上昇等により不透明な状況が続いております。

この結果、売上高は122百万円(前年同期比9.9%減)となりました。

#### (小売部門)

小売部門は、専門性の高い品揃えと接客の充実による顧客満足度を高めることに注力しましたが、高価格帯商品の需要が一段落したこともあり、売上高は減少となりました。

この結果、売上高は245百万円(前年同期比2.7%減)となりました。

#### (その他部門)

物流部門は、保管料収入は増加しておりますが、外部受託業務の取扱数量の減少の影響により売上高はほぼ横ばいでした。自社物流部門については、拡大移転を行った関西物流センターも含め順調に稼働しております。

スポーツ施設運営部門は、株式会社ゼオスを2023年5月1日に外部へ事業譲渡し、2023年12月に当社と合併しました。

この結果、売上高は386百万円(前年同期比3.2%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は23,357百万円となり、前連結会計年度末に比べ696百万円増加しました。これは主に売掛金が494百万円減少したものの、現金及び預金が1,134百万円、商品及び製品が56百万円増加したことによるものであります。固定資産は7,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ471百万円増加しました。これは主に敷金が20百万円減少したものの、投資有価証券が506百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は30,707百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,167百万円増加しました。

## (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は14,438百万円となり、前連結会計年度末に比べ423百万円増加しました。これは主に電子記録債務が232百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が700百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,328百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円増加しました。これは主に長期借入金が47百万円減少したものの、繰延税金負債が128百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は16,767百万円となり、前連結会計年度末に比べ533百万円増加しました。

## (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は13,939百万円となり、前連結会計年度末に比べ633百万円増加しました。これは主に利益剰余金が310百万円、その他有価証券評価差額金が343百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は45.4% (前連結会計年度末は45.0%) となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物 (以下、「資金」という。) は、営業活動により1,396百万円獲得し、投資活動により8百万円使用し、財務活動により268百万円使用した結果、当中間連結会計期間における残高は7,147百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,134百万円増加しました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は1,396百万円 (前年同期比624百万円増加) となりました。これは主に貸倒引当金の減少116百万円、棚卸資産の増加107百万円があったものの、税金等調整前中間純利益706百万円、売上債権の減少561百万円があったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は8百万円 (前年同期比285百万円減少) となりました。これは主に、敷金の回収による収入20百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出19百万円、投資有価証券の取得による支出9百万円があったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は268百万円 (前年同期比99百万円増加) となりました。これは主に、配当金の支払額155百万円、長期借入金の返済による支出99百万円があったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期 (中間期) 連結累計期間における業績と今後の動向を踏まえ、2024年5月9日に公表しました通期連結業績予想を変更しました。なお、当該予想値の修正に関する事項は、本日 (2024年11月14日) 公表しました「第2四半期 (中間期) 連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正、並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,313	7,447
受取手形	413	444
売掛金	9,432	8,938
電子記録債権	1,843	1,745
商品及び製品	3,965	4,021
仕掛品	60	81
原材料及び貯蔵品	254	285
返品資産	259	308
その他	306	201
貸倒引当金	△188	△115
流動資産合計	22,661	23,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,475	2,476
減価償却累計額	△1,886	△1,903
建物及び構築物 (純額)	588	573
土地	1,228	1,228
その他	858	787
減価償却累計額	△707	△657
その他 (純額)	150	130
有形固定資産合計	1,967	1,931
無形固定資産		
その他	98	79
無形固定資産合計	98	79
投資その他の資産		
投資有価証券	4,232	4,739
長期貸付金	12	12
敷金	289	269
その他	364	360
貸倒引当金	△87	△43
投資その他の資産合計	4,811	5,337
固定資産合計	6,877	7,349
資産合計	29,539	30,707

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,951	6,651
電子記録債務	6,029	5,796
短期借入金	194	142
未払法人税等	153	267
未払消費税等	154	85
賞与引当金	229	399
返金負債	306	363
その他	996	731
流動負債合計	14,015	14,438
固定負債		
長期借入金	47	-
繰延税金負債	832	961
退職給付に係る負債	313	324
長期未払金	11	11
その他	1,012	1,031
固定負債合計	2,218	2,328
負債合計	16,233	16,767
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	6,784	7,094
自己株式	△74	△74
株主資本合計	10,683	10,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,564	2,907
繰延ヘッジ損益	25	△8
為替換算調整勘定	41	55
退職給付に係る調整累計額	△9	△9
その他の包括利益累計額合計	2,622	2,945
純資産合計	13,305	13,939
負債純資産合計	29,539	30,707

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	26,120	27,247
売上原価	21,434	22,561
売上総利益	4,686	4,686
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	232	232
運賃及び荷造費	464	487
賃借料	131	126
役員報酬及び給料手当	1,381	1,408
貸倒引当金繰入額	9	△73
賞与引当金繰入額	374	374
減価償却費	73	59
その他	1,401	1,490
販売費及び一般管理費合計	4,069	4,105
営業利益	616	581
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	46	57
保険解約返戻金	35	-
受取賃貸料	4	43
貸倒引当金戻入額	-	16
業務受託料	2	3
その他	13	11
営業外収益合計	103	132
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	2	6
営業外費用合計	3	7
経常利益	717	706
税金等調整前中間純利益	717	706
法人税、住民税及び事業税	272	249
法人税等調整額	6	△9
法人税等合計	278	240
中間純利益	438	466
親会社株主に帰属する中間純利益	438	466



## (中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	438	466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43	343
繰延ヘッジ損益	2	△33
為替換算調整勘定	5	13
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	51	323
中間包括利益	490	790
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	490	790

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	717	706
減価償却費	77	62
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9	△116
賞与引当金の増減額 (△は減少)	175	170
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	10
受取利息及び受取配当金	△47	△58
支払利息	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△78	561
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△386	△107
仕入債務の増減額 (△は減少)	582	467
未払消費税等の増減額 (△は減少)	20	△68
その他	△98	△160
小計	978	1,468
利息及び配当金の受取額	47	58
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△253	△129
営業活動によるキャッシュ・フロー	772	1,396
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△300	△300
定期預金の払戻による収入	300	300
有形固定資産の取得による支出	△82	△19
投資有価証券の取得による支出	△108	△9
敷金の差入による支出	△134	0
敷金の回収による収入	24	20
長期貸付金の回収による収入	1	0
その他	5	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△294	△8
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	100	-
長期借入金の返済による支出	△88	△99
配当金の支払額	△155	△155
その他	△23	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△168	△268
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	315	1,134
現金及び現金同等物の期首残高	5,932	6,012
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 6,248	※ 7,147

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金勘定	6,548百万円	7,447百万円
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	△300	△300
現金及び現金同等物	6,248	7,147

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

1. 当社は、2024年10月10日開催の取締役会において、当社が保有する株式会社デザート（証券コード：8114、以下「対象者」という）の株式について同社が2024年9月30日に公表した「伊藤忠商事株式会社の子会社であるBSインベストメント株式会社による当社株式に対する公開買付けに係る賛同の意見表明及び応募推奨に関するお知らせ」に関する公開買付け（以下「本公開買付け」という）に応募することを決議いたしました。

## ①本公開買付けへの応募の理由

当社は、政策保有株式として対象者株式を保有しておりましたが、本公開買付けの内容について検討した結果、対象者株式の取締役会が賛同の意を表明していること、買付予定価格等の条件が妥当であると判断できること等から、本公開買付けに応募することを決定いたしました。

## ②本公開買付けに応募する所有株式数

応募前の所有株式数 725,121.176株

応募する株式数 725,121.176株

応募後の所有株式数 0株

## ③本公開買付けによる買付予定価格

普通株式1株につき、金4,350円（売却予定総額3,154百万円）

## ④本公開買付けの日程

公開買付け開始公告日 2024年10月1日

公開買付け期間 2024年10月1日から2024年10月29日まで

決済の開始日 2024年11月6日

## ⑤業績への影響

本公開買付けが買付予定価格で成立し、当社が保有する対象者の全株式を売却した場合、2025年3月期に投資有価証券売却益2,952百万円として特別利益を計上する見込みです。